

製品名: ALDH1A1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06758**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 55kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | ALDH1A1 |
| 別名 | ALDH1A1; ALDC; ALDH1; PUMB1; Retinal dehydrogenase 1; RALDH 1; RaLDH1; ALDH-E1; ALHDII; Aldehyde dehydrogenase family 1 member A1; Aldehyde dehydrogenase, cytosolic |
| 遺伝子 ID | 216.0 |
| SwissProt ID | P00352 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト ALDH1A1 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70 |

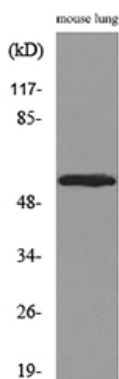
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アルデヒド脱水素酵素ファミリーに属します。アルデヒド脱水素酵素は、アルコール代謝の主要経路においてアルコール脱水素酵素に次ぐ酵素です。肝臓には、細胞質とミトコンドリアの2つの主要なアルデヒド脱水素酵素アイソザイムがあり、これらは異なる遺伝子によってコードされており、電気泳動移動度、速度論的特性、細胞内局在によって区別できます。この遺伝子は細胞質アイソザイムをコードします。マウスの研究では、この遺伝子がレチノール代謝における役割を通じて、高脂肪食に対する代謝反応の調節にも関与している可能性があることが示されています。[RefSeq 提供、2011年3月]触媒活性: レチナル + NAD(+) + H(2)O = レチノイン酸 + NADH.;機能: 遊離レチナルおよび細胞内レチノール結合タンパク質結合レチナルに結合します。レチナルデヒドをレチノイン酸に変換/酸化することができます。;経路:補因子代謝;レチノール代謝。;類似性:アルデヒド脱水素酵素ファミリーに属します。;サブユニット:ホモテトラマー。;

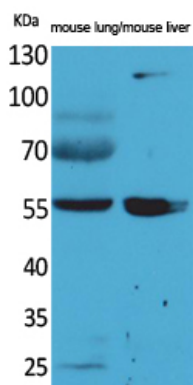
研究分野

レチノール代謝;

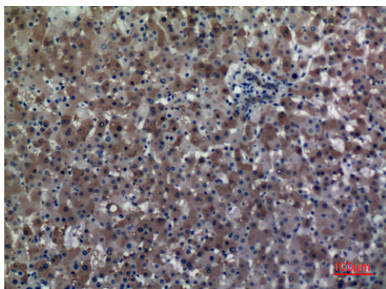
画像データ



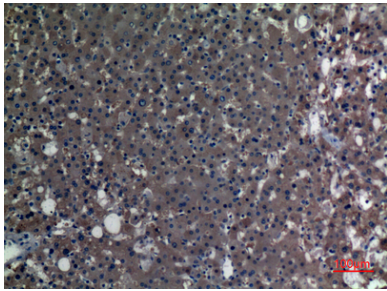
ALDH1A1 抗体を使用したマウス肺溶解液のウェスタンブロット分析。



ALDH1A1 ポリクローナル抗体を用いたマウス肺、マウス肝細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された